

# じぶんの顔はじかに見られない



★筆者が「じぶんの身体」をどうとらえているかをつかもう。  
★筆者の言いたいことを論理立ててまとめよう。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

じぶんの身体というものは、だれもがじぶんのもつとも近くにあるものだと思っています。たとえば包丁で切った傷の痛みはわたしだけが感じるもので、他人は頭でわかって、わたしの代わりに痛んでくれるわけはありません。その意味で、わたしはわたしの身体であると言いうるほどに、わたしはまがいなくわたしの身体に近くにあるほうです。

ところが、よく考えてみると、わたしがじぶんの身体についてもっている情報は、ふつう想像しているよりもはるかに貧弱なものです。たとえば身体の全表面のうちでじぶんで見えるところというのは、身体の前面のごく一部に限られています。だれもじぶんの背中や後頭部をじかに見たことはありません。それどころか、他のひとたちがこのわたしを「へわたし」として認知してくれるその顔は、じぶんでは終生、じかに見るのができないものです。ところがこの顔にこそ、じぶんではコントロール不可能な感情や気分が露出してしまいます。①なんとも無防備なことでは

それだけではありません。身体の内部となると、これはレントゲンや超音波撮影機や体内カメラといった高度な技術を使わないと、ぜったいに見ることはできません。身体内部で起こっている細かいことは、じぶんではぜんぜんわからないのです。じぶんのなかからふつと湧き上がってくる欲望や感情、これもわたしたちはなかなかうまくコントロールできません。痛みや病いという現象も、わたしたちには不意を襲うようなかたちでやってきます。それしたいして、わたしたちはたいたいも襲われるがままでいるしかないのです。身体とはわたしたちにとってまずは不安の滲みでてくる場所であるようです。わたしたちの身体は、知覚情報も乏しいし、思うがままに統制もできないと

いう意味では、「へわたし」から想像以上に遠く隔たったもののようなのです。

他人の身体ならわたしたちはそれを一つの物体として、他の物体のように見たり触れたりできるのですが、ほかならぬこのわたしの身体は、じぶんではいわばどこかたよりないイメージとして所有することしかできないのです。わたしたちはじぶん自身の身体を、②いわば目隠ししたまま経験するしかないわけです。これは考えてみれば、物騒な事実です。フリードリヒ・ニーチェという哲学者は、その著書のなかで、「各人にとっては自己自身ももつとも遠い者である」という、ドイツの古い諺を紹介していますが、③身体についてもまったく同じことが言えそうです。

じぶんの身体はつねにイメージとして思い描くしかない。身体はこのように情報量の少ない、ぼんやりとした「像」であり、想像の産物でしかないのです。かんたんに揺らいでしまします。とてももろいものなのです。そしてこのようなもろい身体イメージを補強するために、わたしたちは日常生活のなかでいろいろな技法を編みだしてきました。④セイモア・H・フィッシャーというアメリカの心理学者が『からだの意識』という本のなかで興味深い指摘をしています。かれによると、たとえば風呂に入ったり、シャワーを浴びたりするのが心地いいのは、湯や冷水のような温度差のある液体に身を浸すことによって皮膚感覚がはげしく刺激され、活性化されるからです。⑤だん視覚的には近づきえないじぶんの背中の輪郭が、皮膚感覚の活性化によってにわかにくっきりしてくるといいます。つまり、この

ことによって「へわたし」の輪郭が感覚的に補強されるので、じぶんと外部との境界がきわだってきて、⑥じぶんの存在のかたちがたしかなものとなり、気持ちがあらわいでくるというのです。

## チェックポイント

- 筆者は、じぶんの身体についてもっている知覚情報の量について何と言っているか。文章中から二十一字で探し、で囲みなさい。
- わたしたちがコントロール不可能なものを、文章中から五字で抜き出し、で囲みなさい。
- わたしたちを不意に襲うものは何か。文章中から五字で抜き出し、で囲みなさい。
- 筆者は、じぶんの身体はどのようなものだと述べているか。第四段落以降の文章中からひと続きの三文で抜き出し、で囲みなさい。

## 確認クエスチョン

- 線①「なんとも無防備なことでは」とあるが、このことを説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を書きなさい。  
人間は、じぶんの身体の一部がそうであるように、顔をしてその顔には、思いどおりにはならない  ができないし、ましがあられわってしまう。
- 線②「いわば目隠ししたまま経験するしかない」とは、どういうことか、書きなさい。
- 線③「身体についてもまったく同じことが言えそうです」とあるが、どのような点が同じことだと言えるか。四十字以内で説明しなさい。
- 線④「じぶんの存在のかたちがたしかなものとなり」について説明した次の文の空欄にあてはまる言葉を、アメリカの心理学者が指摘した内容をふまえて、三十字以内で書きなさい。  
ぼんやりとした「像」でしかない身体イメージを補強する技法を用いることによって、 ということ。
